

会計別の予算額

区分	予算額
総額	91億3,715万円
一般会計	66億2,348万円
特別会計	19億5,180万円
水道収益的支出	4億1,135万円
水道資本的支出	1億5,052万円

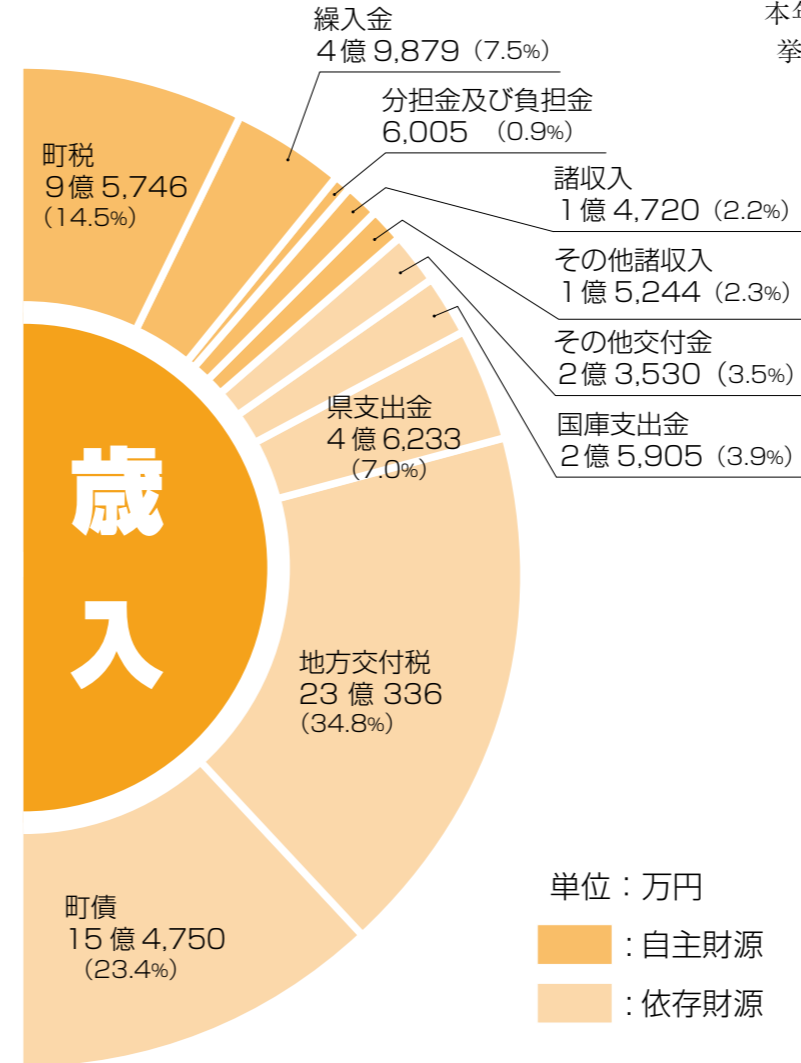
区分	予算額
国民健康保険	13億8,247万円
後期高齢者医療	3億222万円
診療所事業	1億87万円
井内地域開発事業	95万円
町営浄化槽整備推進事業	1億6,529万円

平成30年度一般会計当初予算額は

# 66億2,348万円

平成30年度予算が第1回町議会定例会で可決されました。本年度の一般会計当初予算については、1月末に町長選挙が行われたことにより、継続事業と一部の政策的事業などを含めた骨格予算となっていますが、前年度当初予算と比べ、継続事業が大きく増額していることから、1億8,810万円増の66億2,348万円となっています。

では、今年度の予算の使いみちについて、歳入歳出別にみてみましょう。  
(予算額は、1万円未満を四捨五入しています。)

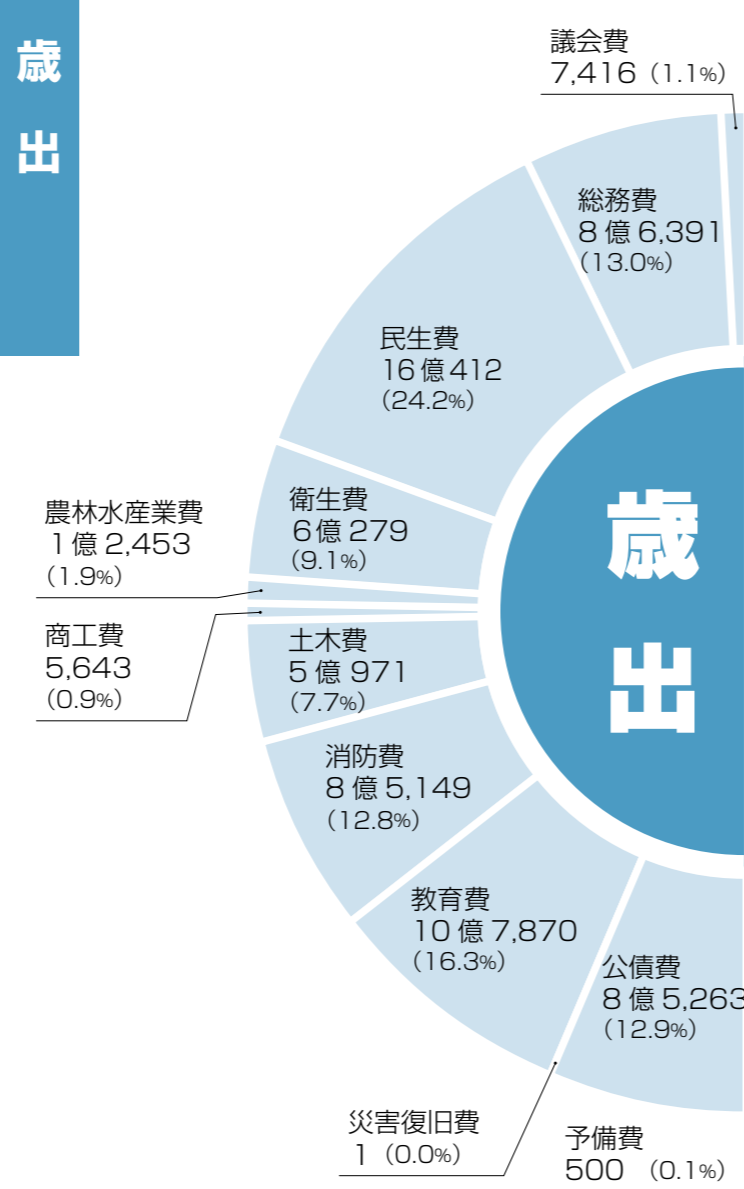


歳入

町債は2億9,920万円の増

町が自主的に収入することが出来る財源のうち、町税収入（町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税）は前年度比3・8%減の9億5,746万円。また、特別会計・基金からの繰入金

金は財政調整基金からの繰入額の増などで前年度比9・6%増の4億9,879万円。ほかに繰越金や保育料などの分担金及び負担金などを加えた自主財源は、全体の27・4%にあたる18億1,594万円となっています。一方、地方交付税、国・県支出金、町債などのように、その調達を国や県などに依存している依存財源は48億754万円と全体の72・6%を占めています。さまざま町づくりに使われる地方交付税は、前年度比0・3%減の23億336万円。一定の事業などに對し、国や県から補助金や負担金として支払われる国・県支出金は、前年度比12・1%減の7億2,138万円となっています。町が行う事業や地方交付税の不足分などを補う財源として借りる町債は、前年度比24・0%増の15億4,750万円となっています。



歳出

教育費は5億8,834万円の増

ごみ処理やし尿処理などの環境に対する経費や、病気を予防するための検診などの健康づくりに対する経費など

農地等の利用関係の調整などを行う農業委員会委員への報酬、各集会所の維持、農道や林道の新設・修繕など

幼稚園や小学校、中学校の運営やまなびの郷、図書館などの教育施設の管理・運営、教育委員会の職員の給与、文化活動やスポーツの振興など

道路の維持補修や、港湾や輪中堤、防潮水門の管理など

道路の維持補修や、港湾や輪中堤、防潮水門の管理など

平成30年度当初の一般会計歳出予算は、大型事業が控える教育費が120・0%の増、飛雪の滝キャンプ場リニューアルの関係で商工費が99・7%の増となり、普通建設事業費の減などで農林水産業費が28・2%の減となっています。

町長や総務課、企画調整課などの職員の給与や庁舎の管理、交通安全、防犯対策、選挙、町民バスの運行など

児童や高齢者、障がい者の方たちへの福祉事業や保育所の運営、国民健康保険特別会計などへの繰出金や福祉課や保育所の職員の給与など

商工業や観光の振興、ウミガメ公園や飛雪の滝キャンプ場の管理など